

国際文化学科履修系統図(2022年度以後の入学者)

育成人材像

国際社会に適応しリーダーシップを発揮できる人材を育成します。そのためには、国際的な視野、語学力と異文化理解力、柔軟な発想と行動力が欠かせません。国際文化学科では、学生のこうした力の向上を目指して、教育をおこないます。

育成能力

読む・書く・話す・聞くの四技能を基礎から上級まで学ぶことで、実践的な英語力を身につける。
DP4一つ以上の外国語について、日常生活に必要な言語運用ができる。
DP7異文化社会に属する、多様な価値観や思考様式を持つ人々との相互理解に努め、協調・協働して行動することができる。

英語以外の諸言語を第二外国語として学び、そのコミュニケーション能力を身につける。
DP4一つ以上の外国語について、日常生活に必要な言語運用ができる。
DP7異文化社会に属する、多様な価値観や思考様式を持つ人々との相互理解に努め、協調・協働して行動することができる。

情報社会で必要とされるパソコンやインターネットなどに関する知識と技能を修得し、実務能力を養う。
DP6必要な情報を適切な方法で収集し、クリティカルな態度をもって分析、活用することができる。

日本文化を世界的視野で捉え直す。また、世界の文化を概括的に学んだうえで日本との比較により理解を深める。
DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
DP2世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。

社会と文化の視点から日本と諸地域の関係を学ぶ。
DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
DP2世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。

各国・各地域の歴史の知識を習得したうえで、日本と諸地域の文化交流史を学ぶ。
DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
DP2世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。

各地域の文学を学んだうえで、日本文学へ影響やグローバル社会における新しい文学のあり方を知る。
DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
DP2世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。

コミュニケーションの基礎を学び、さらに異文化間コミュニケーションの基礎能力を育成する。
DP7異文化社会に属する、多様な価値観や思考様式を持つ人々との相互理解に努め、協調・協働して行動することができる。

英語と日本語の知識と教育、その関連領域を学び、言語を用いる専門技能と教育の場における実践力を育成する。また、中国語と韓国語の会話能力の習得を基盤として日中・日韓の翻訳・通訳の基礎知識と技法の基本を習得する。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。
DP5日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、自らの見解をわかりやすく伝達することができる。

英語

- Fundamentals of English I
- Fundamentals of English II
- Oral Fluency I
- Oral Fluency II
- English for Advanced Studies A
- English for Specific Purposes A
- TOEIC Preparation A
- TOEIC Preparation B
- Basic Writing Skills I
- Intermediate Practical Discussion Skills I

- Oral Fluency III
- Oral Fluency IV
- English for Advanced Studies B
- English for Specific Purposes B
- TOEIC Preparation C
- TOEIC Preparation D
- Basic Writing Skills II
- Intermediate Practical Discussion Skills II
- Intermediate Writing Skills I
- Intermediate Reading Skills I

- Oral Fluency V
- Oral Fluency VI
- English for Advanced Studies C I
- English for Specific Purposes C I
- Advanced Practical Discussion Skills
- Intermediate Writing Skills II
- Intermediate Reading Skills I

- English for Advanced Studies C II
- English for Specific Purposes C II
- Business English Writing
- Spoken Business English
- Advanced Reading Skills

第二外国語

- 韓国語 I
- 韓国語 II
- 韓国語検定演習A
- 中国語 I
- 中国語 II
- ドイツ語 I
- ドイツ語 II
- フランス語 I
- フランス語 II
- スペイン語 I
- スペイン語 II
- ハンガリー語 I
- ハンガリー語 II
- ポーランド語 I
- ポーランド語 II
- チェコ語 I
- チェコ語 II

- 韓国語 III
- 韓国語 IV
- 韓国語検定演習B
- 中国語 III
- 中国語 IV
- ドイツ語 III
- ドイツ語 IV
- フランス語 III
- フランス語 IV
- スペイン語 III
- スペイン語 IV
- ハンガリー語 III
- ハンガリー語 IV
- ポーランド語 III
- ポーランド語 IV
- チェコ語 III
- チェコ語 IV

- 韓国語 V
- 韓国語 VI
- 韓国語検定演習C
- 中国語 V
- 中国語 VI
- ドイツ語 V
- ドイツ語 VI
- フランス語 V
- フランス語 VI
- スペイン語 V
- スペイン語 VI
- ハンガリー語 V
- ハンガリー語 VI
- ポーランド語 V
- ポーランド語 VI
- チェコ語 V
- チェコ語 VI

情報

- デジタルアプリA
- デジタルアプリB

- Multimedia Production

地域文化比較

- 国際文化入門
- 日本の伝統文化
- 日本の現代文化
- 世界の中の日本
- アメリカ文化概論
- 中国概論
- 韓国現代文化
- 異文化理解
- 比較文化概論
- 文化人類学

- 日本民俗学
- 文化遺産

- 日本文化論
- Varied Topics in Culture and Society in Japan
- Selected Topics in Japanese Media and Animation
- 日中比較文化
- 日韓比較文化

社会

- 社会学入門
- 韓国の社会
- ドイツの社会と文化
- 中欧の社会と文化

- 多文化社会論
- 日本とアジア
- 日本と北米
- 日本と中南米
- 日本とヨーロッパ

- 中欧地域文化研究

歴史

- 歴史・文化の視点
- 外国史概説
- 日本の歴史A
- 日本の歴史B
- 韓国の歴史
- 中国の歴史
- アメリカの歴史
- ラテンアメリカの歴史

- 文化交流史A(日本・アジア)
- 文化交流史B(日本・欧米)

文学表現

- 日本文学概論
- アメリカ文学概論

- 日本文学史
- 韓国の文学
- 近代イギリス文学

- 日本の文学A(古典)
- 日本の文学B(近・現代)
- Images of Japan: Literature and Film
- 漢文講読

コミュニケーション

- 国際コミュニケーション入門
- コミュニケーションの基礎

- 異文化間コミュニケーション論
- International Communication

言語学
日本語学
日本語学
日本語教授法
翻訳通訳

- 言語学概論
- 日本語学概論A
- 日本語学概論B
- 日本語表現
- 英語学概論A
- 英語学概論B
- 中国語コミュニケーション I
- 韓国語コミュニケーション I(A) (話す・聞く)

- 日本語の音声
- 日本語の語彙・意味
- 日本語の文法A
- 日本語の文法B
- 日本語の音声
- 日本語の語彙・意味
- 日本語の文法A
- 日本語の文法B
- 中国語コミュニケーション II
- 韓国語コミュニケーション II(A) (話す・聞く)

- 言語学
- 日本語教授法A(教授法)
- 日本語教授法B(コースデザイン・評価)
- 日本語教授法C(教材・教具)
- 第二言語習得論
- 社会言語学
- Language Acquisition
- 翻訳の基礎(英日)
- 日中翻訳技法 I
- 日中通訳技法 I
- 韓国語コミュニケーション III(A) (話す・聞く)

- 日本語教育事情
- 日本語教育実習 I
- 日本語教育実習 II
- 日中翻訳技法 II
- 日中通訳技法 II

- 日本語教育実習 II

	韓国語コミュニケーションⅠB(書く読む)	韓国語コミュニケーションⅡB(書く読む)	韓国語コミュニケーションⅢB(書く読む)	
		日韓翻訳技法Ⅰ 日韓通訳技法Ⅰ	日韓翻訳技法Ⅱ 日韓通訳技法Ⅱ	
視覚文化 芸術	視覚文化論 日本美術 西洋美術	書道(書写中心)		絵画・映像文化に関する基礎知識を習得し、視覚文化・表象文化の読み解き方を学ぶ。 DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。 DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。
ジェンダー論 女性学 家族論	ジェンダー論 家族論 アジアの女性論			現代社会を女性という観点から学び、その問題と解決策を考える力と自らのキャリアを形成する力を養う。 DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。
政治 法律 経済 ビジネス	政治学入門 日本国憲法 法律学概論	経済原論A 経済原論B アジア国際関係論	国際法 国際経済学 国際関係論	国際教養として国内外の政治・経済・法律等を学び、日本とグローバル化社会の社会的基礎を身につける。また、特に、日本の隣国であり、経済的影響も大きい中国の経済・産業・ビジネスに焦点を当てる。 DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
宗教・倫理		宗教学概論 倫理学概論		人間や文化を知る視点として宗教・倫理・地理を学ぶ。 DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
地理		地理学A 地理学B	地誌	
博物館学 生涯学習	ミュージアロジー入門 生涯学習論	ミュージアムと展示 ミュージアムと情報・メディア ミュージアムと教育	ミュージアム・マネジメント ミュージアムの資料 ミュージアムの資料保存	文化資源の保存や活用を行う機関として博物館・美術館およびその業務について学ぶ。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
演習	基礎演習A アカデミック・スキルズ	基礎演習B	基礎演習C キャリア形成演習	国際文化演習ⅠA → 国際文化演習ⅡA 国際文化演習ⅠB → 国際文化演習ⅡB 卒業論文 卒業制作
国際文化コース	クリティカル・リーディング(英語)A クリティカル・リーディング(英語)B	クリティカル・リーディング(英語)C クリティカル・リーディングA クリティカル・リーディングB 国際文化プロジェクト		協働学習によって特定地域の文化・歴史等について調査し、リサーチ力、読解力、編集力、発信力、コミュニケーション力を高める。 DP6必要な情報を適切な方法で収集し、クリティカルな態度をもって分析、活用することができる。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
韓国語コース	韓国語プロジェクトA	韓国語プロジェクトB		自分がおかれている社会の中で、自分が設定した課題について、韓国語を活用し、他者と協働しながら解決する力を育成する。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
研修 インターンシップ	留学プランニング 国際文化研修A(海外) 国際文化研修B(国内) コミュニケーションインターンシップ			海外研修によって外国語でのコミュニケーションとその地域の文化と社会を体験し、自らの視野を広げる。その体験を長期の留学や海外インターンシップでの活動に発展させ、国際社会で活動する基礎能力を育成する。 DP4一つ以上の外国語について、日常生活に必要な言語運用ができる。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
スポーツ	スポーツ科学ⅠA スポーツ科学ⅠB	生涯スポーツ概論		スポーツを、健康や生涯学習と関連させながら学び、実践するための基礎力を身につける。

- 全学部基盤共通科目群
- キャリア形成科目群
- 学部コア科目群Ⅲ
- 外国語科目群
- 専門基礎科目群
- 専門科目群Ⅰ(国際文化)
- 専門科目群Ⅱ(韓国にかかわる言語・文化・社会)
- 専門科目群Ⅲ(ゼミ研修・実践)
- 専門科目群Ⅳ(言語・文化・社会関連)